

労建交労とちぎ

発行所 全日本建設交通一般労働組合
 栃木県本部 〒327-0315
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
 TEL 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
<http://www.dumptcg.org/>
 E-mail: kenkourou@dumptcg.org

展望をもって働ける業界にしたい 県・県警に現場の声を訴える

ダンブ支部では七月十八日、組合員の代表十六人で栃木県と栃木県警察本部への要請行動に取り組みました。この行動は今年で二十一回目になる「全国ダンブキヤラベン」の一環として実施しました。現場労働者の切実な声を行政に訴える重要な運動です。

いま砕石業界は大きな変化の時期を迎えています。いまの労働環境では、輸送の担い手であるダンブ労働者の後継者は育ちません。若者、現役世代が展望をもって働ける業界にするためにも、組合の役割は重要です。

栃木県は今年度も発 万七千八百円とわずかに注工事における労務単 二年の間に日額三千五百円も引き上げられました。ダンブなど「一般運転手」の労務単価は平成二十四年度の一万四千三百円から今年度は一月に県内全土木事務所

実態との格差広がる



栃木県への要請

三六現場で出入りするダンブ労働者(ダンブ持ち込み三六人、運転手二九人)から聞き取り調査を実施、その結果を報告しました。持ち込み三六人、運転手二九人)から聞き取り調査を受け、九月に砕石工場等への「抜き打ち要請を受けて、九月に砕石工場等への「抜き打ち



ちパトロール」を実施したこと、また独自にしているもの、設計単価との開きがあることを明らかにしました。県ではこの実態を踏まえ、業も一歩踏み込んだ対応を行われました。する問題提起が具体的に悪質性が高いかは明らかです。また、受け取る側に対する規制など、六月までの過積載検査件数が前年比で三倍に増えていることを明らかにしました。しか

切実な組合員の発言

いま最も重要な課題は、検査対象ダンブがある傾向が指摘されています。つまり、本枠枠ダンブが見える深積んでいる深三〇トン以上由で検査され、最大障害は過積載です。県警本部にたいする要請では、組合員から警察の取締りにたい



どちらがより危険性、悪質性が高いかは明らかです。また、受け取る側に対する規制など、六月までの過積載検査件数が前年比で三倍に増えていることを明らかにしました。しか

集団的自衛権の行使容認に反対を

七月一日、政府は集団的自衛権の行使を容認する集会にこそ「安倍内閣の暴走」を阻止する力があると思いましたが、海外での自衛隊の武力行使に道を開くものであり、撤回を求めて運動を強めることが求められています。

当日首相官邸前に行くと若者が多く、それぞれのスタイルで抗議の声をあげていました。労働組合などの組織動員型の集会で



7月1日 首相官邸前

◎今月市町村から今年度の国民健康保険税の通知が送られ、その金額に驚いた人も少なくないのでは。組合では保険料一律の建設国保を取り扱っています。比較してください。保険料は事務所に電話を